

201806新潟県知事選政策アンケート回答比較【読売新聞】

質問(要旨)	花角英世	池田ちかこ
米山県政への評価は。	在任わずか1年半で突然の辞任となり、県政に対する県民の信頼が大きく損なわれたことは誠に残念に思う。一刻も早く、県政の信頼回復と安定を実現しなければならないと考える。	原発検証委員会、給付型奨学金、県独自の種子条例の施行など、県民のための施策の策定、市町村との信頼関係の修復や連携を高く評価する。前県政で取り組み始め、途上にある政策をしっかりと実現する必要がある。
県内の人口減少対策として推進する施策は。	ニーズに応じた多様なサービス様をきめ細やかに提供し、子供を産み育てやすい環境を整備する。また、大学生などの県内就職を促進するとともに、新潟の魅力の発信を強化して、Uターン・Iターンの増加を図る。	女性や若手の力を活かして「新産業と雇用検討会議」(仮)を設置し、雇用や暮らしを支援し、「子育て応援日本一」をめざす。市町村と連携して地域の宝を掘り起こし、移住から定着までの支援で「選んでもらえる新潟」をめざす。
柏崎刈羽原子力発電所の再稼働について三つの検証の必要性について。	米山前知事が進めていた三つの検証は、いまだ道半ば。これを引き継ぎ、徹底的な検証を行う。	県が独自に進めてきた技術的な検証の蓄積の上に、総括的に検証されつつあると認識している。政府や国会事故調が及ばなかった領域にも踏み込むことは、新潟県民の命と暮らしにとってきわめて重要。委員会の構成・テーマは引き継ぐ。
原発検証に要する期間の見通しと、その理由は。	検証は科学的・専門的見地から徹底的に行っていただきたいと思う。2、3年はかかるのではと考える。また実効性のある避難計画のように、検証しながら、関係市町村などにフィードバックしつつ、さらに検討されるものもあると考える。	現在の検証の進捗よく状況を見ると最低3年ほど要すると考えられるが、検証テーマによっては期限までに十分な結論が得られないものもあり得る。不十分な結論しか得られない場合も、再稼働を進める材料にはならないと考える。
原発の再稼働の可否を判断する際、最も重視する事柄は。	県民の皆さんが検証結果をどのように評価し、納得していただけるかということ。それを見極める。そのためにも、検証結果は広く県民の皆さんと情報共有する。	次世代におよぶ長期的な観点から、県民の命と暮らし、新潟県の豊かな自然や食が守れるか、という点が最大の課題。また、安全で実効性のある避難計画が確実に成立しうるかも重要。
再稼働の判断方法は。	検証結果は広く県民と情報共有するとともに、評価をいただき、納得いただけるか見極める。検証結果を踏まえ、リーダーとして責任を持って、結論の全体像を県民に示し、県民の意思を確認する。	検証を成し遂げ、その結果を広く県民に共有し、知事として責任をもって判断するとともに、その判断の是非を県民に確認していただく。県民投票を含め、その方法についても県民の皆さんと議論したい。
地域活性化に向けた具体策は。	起業・創業に挑戦する人、事業拡大を目指す中小企業、新たに農業に取り組む人、街おこし・地域づくりに取り組む人など、新潟でチャレンジする人を応援する。また、観光など交流人口を増やすことに取り組み、新潟経済に活力を呼び込む。	「新産業と雇用検討委員会」(仮)を設置し、中小企業・地場産業など育成しつつ、自然エネルギー関連産業など新産業の振興や販路拡大、起業・創業支援を促進し、雇用の場の確保、地域の宝を活かした観光産業の活性化も図る。
県内農業の最大の課題と対策は。	主食米のみならず、原料米、果物、枝豆など多様な農産品を新潟ブランドとして流通させ、足腰の強い農業を作る必要がある。セールスの先頭に立ち、大都市圏での流通・消費の拡大を目指すとともに輸出促進に積極的に取り組む。	稲作農家が不安の中にあり、TPPの影響も要検証。戸別所得補償制度復活を求め、安定的な種子供給や技術指導で農業を支え、国内外への販路拡大も進める。小規模農家・農協准組合員を含む多様な担い手育成とその協同で集落機能拡充。
就任して真っ先に取り組む政策は。	まずは、県民の県政に対する信頼回復を図らなければならない。県民の願いを実現する県民最優先の県政を行うため、県民との対話を進める。同時に、県庁組織の風通しを良くし、「チーム県政」として一丸とされるよう取り組む。	前知事の下で進捗していたプログラムの到達状況を確認し、優先順位を判断しながら速やかに再開する。知事選で掲げた公約とその趣旨の周知を図り、県庁内の理解を深め、またそのプロセスを県民に広く公開する。
目指す知事像は。	県民との対話をしっかり行い、県民最優先の県政を実現できる知事を目指す。	新潟県初の女性知事として、脱原発後の「新しい社会」のあり方を全国に先駆けて示せるような知事をめざす。県民の意見に耳を傾け、知恵を結集し、ボトムアップ型のリーダーシップを実現したい。